CONTENTS

文化人の本音 河合隼雄文化庁長官対談 第18回 ゲスト 森 まゆみさん●作家
 地域の人たちとともに20年4
 長官コラム 文化庁の抜穴9

連載	わがまちの文化振興条例⑥ 北海道文化振興条例22
	いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート⑩ 鳥取県立博物館24
	著作権の保護とその例外⑥25
	子どもたちから見た伝統的建造物群保存地区 渡名喜村渡名喜島(沖縄県島尻郡渡名喜村)26
	全国発掘調査ホット情報⑥ 壱岐島における古墳とその活用(長崎県)27
	文化体験プログラム支援事業⑥ 福岡県福岡市28
	外来語の現状とその解決のために⑤ 新語による言い換えはむずかしいのですか...甲斐睦朗・29
	探訪 日本の世界遺産⑥ 世界文化遺産 古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市) ...30
	国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法—文化財鑑賞の手引き—⑥ 古文書をみる31
	日本の伝統美と技を守る人々 選定保存技術保持者編30 大野 豊 (檜皮採取)32
文化庁ニュース	第18回 国民文化祭・やまがた2003 紅花のくに 咲かそう文化 ときめく未来33
	平成16年度芸術団体重点支援事業等の 募集について35
	京都国立博物館 特別陳列 坂本龍馬37
	奈良国立博物館 第55回 正倉院展38
	東京国立近代美術館 特別展 現代の木工家具 スローライフの空間とデザイン ...39
	京都国立近代美術館 ヨハネス・イッテン 造形芸術への道40
	国立西洋美術館 レンブラントとレンブラント派 聖書、神話、物語41
	国立国際美術館 特別展 大地の芸術 クレイワーク新世紀42
	東京国立博物館 特別公開 国宝 松林図屏風43
	東京文化財研究所 第37回美術部オープンレクチャー44
イベント案内	京都国立博物館 特別展 坂本龍馬37
	奈良国立博物館 第55回 正倉院展38
	東京国立近代美術館 特別展 現代の木工家具 スローライフの空間とデザイン ...39
	京都国立近代美術館 ヨハネス・イッテン 造形芸術への道40
	国立西洋美術館 レンブラントとレンブラント派 聖書、神話、物語41
	国立国際美術館 特別展 大地の芸術 クレイワーク新世紀42
	東京国立博物館 特別公開 国宝 松林図屏風43
	東京文化財研究所 第37回美術部オープンレクチャー44
	兵庫県立美術館「芸術の館」 (平成15年芸術拠点形成事業〈展覧会事業等支援〉採択館) 写真提供:兵庫県立美術館
	今月の表紙

文化庁提言	地域における文化振興	有松正洋	10
解説	地域の文化拠点としての美術館・博物館	岡部幹彦	12
施策紹介	平成一五年度「芸術拠点形成事業(展覧会事業等支援)」の概要	高橋博	14
事例紹介	平成一四年度「芸術拠点形成事業(展覧会事業等支援)」		15
論文	地域文化振興の拠点としての公立文化会館		17
施策紹介	地域における文化の振興		20

特集 地域の文化拠点
美術館・博物館、文化会館

新国立劇場スポットライト45
 10月の国立劇場46
 芸術文化振興基金ニュース47
 題字デザイン 桑山弥三郎

鳥取県立博物館 特別展バス招待事業

「また、来ますからね！」鳥取県立博物館が行っている「適応指導教室バス招待事業」で、帰りのバスへ乗り込む子どもたちが元氣よくあいさつをしてくれます。

近年、学校現場における学習不適応児童・生徒の急増は大きな問題として取り上げられています。鳥取県においても、いわゆる「不登校児童・生徒」に対する支援施策として、主な市町村に「適応指導教室」が設置され、専門職員によるカウンセリングや生活および学習指導が行われています。

鳥取県立博物館では、県内にある適応指導教室一三学級に通う彼らに対して、実物と向き合って感動を深める体験の場を提供するために、博物館側が用意したバスで特別展に招待する事業を行っています。平成一四年度は、年間四回の特別展に招待しました。それぞれに七〇名程度の参加があり、回を追うごとに笑顔が増えました。

この事業を進めるにあたっての県内各地の教室との調整や連絡は、鳥取県教育センター教育相談課が行います。県立博物館は、館内に滞在する約四時間のカリキュラムを計画します。

それぞれの招待日には、午前中の特別展鑑賞と午後の交流行事が組み込まれています。午前の部では、特別展を企画した学芸員が、子どもたちと対話をしながら展示のね

表 参加者の感想（一部）

【児童・生徒の感想】

- ・想像していたものとだいぶ違っていて驚いた。
- ・岡本太郎の絵がすごかった。
- ・いろいろな人間がいるのだなあと思った。
- ・普段見られないものが見えてとてもよかった。
- ・コンサートの音楽がなつかしかった。
- ・絵の意味がよく分からなかった。
- ・不思議な感じがした。

【引率者の感想】

- ・教室行事にも喜んで参加するようになりました。
- ・創作活動を計画してくださったのがよかった。
- ・普段、教室では見られない姿や表情が見られた。
- ・本物を見たり、触ったり、作ったりと楽しみながら参加できたことにとっても満足していた。
- ・2学期から気持ちを学校へ向けることが出来そうだ。
- ・他の教室の子供たちとの触れ合いもあり、友達関係、人間関係の広がりが出た。
- ・音楽コンサートにとっても感動していた。

らいや資料の特徴を説明します。また、午後の交流行事では、ゲームや音楽会をとおして他の教室の友達と接する機会を増やし、親しく話をする友達の輪を広げています。最後の閉会行事では、数名の児童・生徒が感想を述べてくれます。さらに、数日後にはお礼の手紙が届き、楽しかった思い出と次回への期待をつづつてくれます。

普段はあまり接することのない美術作品や貴重な資料を前にして、自分なりの自己

表現を試みたり、じっと作品と対峙している姿は、一般の同年代の子どもと変わりはありません。この事業に参加した児童・生徒が、家に帰って「博物館へもう一度行きたい」と話したという記事が新聞の投書欄に掲載されました。これまで、このような言葉を耳にしたことのない母親は、その変容ぶりにたいへん感激されたそうです。

最後に、参加者の感想を表に紹介します。

(副館長 安藤重敏)

◆長官対談◆

【文化人の本音】河合隼雄文化庁長官対談
秋山喜久 (社) 関西経済連合会会長
【長官コラム文化庁の抜穴】

◆特集◆

関西からの文化発信

【提言】

関西元気文化圏について
河合隼雄 文化庁長官

【施策紹介】

関西元気文化圏とは？
文化庁主催事業について

【座談会】

関西新進芸術家
河合隼雄 文化庁長官 ほか

◆連載◆

【わがまちの文化振興条例】
福岡県太宰府市
【著作権の保護とその例外】
【いきいきミュージアム〜美術館・博物館事業レポート〜】
小野市立好古館 (兵庫県)
【全国発掘調査ホット情報】
大鹿窪遺跡 (静岡県)

【子どもたちから見た伝統的建造物群保存地区】
丸亀市塩飽本島町笠島 (香川県)
【外来語の現状とその解決のために】
甲斐睦朗 国立国語研究所所長

【文化体験プログラム支援事業】
平成一五年度実施地域の決定について
日本の伝統美と技を守る人々
甲冑修理・小澤正美

【探訪 日本の世界遺産】
白川郷・五箇山の合掌造り集落 (岐阜県・富山県)
【国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法】
縄文時代Ⅱ土偶の造形にひそむ意味

◆文化庁ニュース◆
伝統文化の祭典 人間国宝 in 関西
平成一五年度文化庁舞台芸術国際フェスティバル

重要視されています。ここでの、美術館・博物館・文化会館は単なる施設としての存在ではありません。ハードからソフトへの路線転換が図られており、多様化した国民のニーズを、いかに地域の文化拠点が満たしているかが問われています。どうすれば、「最大多数の最大幸福」が得られるのでしょうか。その成果はどうなったら達成されたといえるのでしょうか。秋の夜長に思いをめぐらす日々が続きます。(文)

編集後記

冷夏といわれた今年の夏も終わり、夜には涼しい風がほほをかすめるようになりました。いよいよ、読書の秋、食欲の秋、そして、文化の秋です。

今月号は、地域の文化拠点としての美術館・博物館・文化会館をテーマに「地域」や「拠点」をキーワードとして特集しました。近年、「地域」の文化活動の重要性が高まってきており、その「拠点」としての、美術館・博物館・文化会館の果たす役割がますます

文化庁月報 9月号 (通巻420)

平成15年9月25日印刷・発行

編集—文化庁

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

発行—株式会社 ぎょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16

電話 編集 03 (3571) 2126

販売 03 (5349) 6666

URL : http://www.gyosei.co.jp

印刷所—ぎょうせいデジタル株式会社

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、筆者個人の見解であることをお断りいたします。

定価540円 [本体514円] 送料76円

年間購読料6,480円

本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込みください。

広告の問い合わせ・申し込み先

(株) ぎょうせい 営業部 広告課

電話 03 (5349) 6657 (ダイヤルイン)

©2003 Printed in Japan ISSN 0916-9849

本誌は本文用紙に再生紙を使用しております。

お詫びと訂正
本誌平成一五年八月号掲載「文化庁ニュース」の「文化財の新指定(美術工芸品関係②)」三六ページ「青森県三内丸山遺跡出土品」保管場所は正しくは「青森県(青森県立郷土館保管)でした。お詫びして訂正いたします。

文化庁では、ホームページで、文化庁に関する情報を幅広く提供しています。ご意見、文化庁月報の感想などを、ホームページのご意見欄へお寄せください。

●ホームページアドレス●

http://www.bunka.go.jp